

ほん・本・ブック（修練会）

公益財団法人豊島修練会 2015年6月24日号（通算第8号）

子どものほん（子ども、小学生&中学生）

日野原重明・詩、いわさきちひろ・絵「しかえししないよ」朝日新聞出版 本体 1300 円

医師で 105 歳の日野原重明先生の詩に、いわさきちひろ（故人）さんの絵で構成した「生と死」を見つめ、「命の尊さ」を感じ、広く「愛と平和」を訴え、「子供たちのいのちの大切さ」を語った詩集である。題名の「しかえししないよ」は、いのちを粗末にする争いごとはやめて「やられたら、強い力でやり返すのではなく、ぐっとこらえてやり返さないこと」の意味が込められている。「しかえししないよ」「平和の輪」「スキップ」「子どもはアート」「受ける愛と与える愛」「愛といのち」「無償の愛」「短い人生もある」「いのちと死は一つ」「メント・モリ」「新しい友との出逢い」「幸福とは」の 12 編の詩は、子どもにも、大人にも、大事な大事なたくさんのメッセージを伝えてくれます。



大人の本（パパ&ママ、ジジ&ババなど）

かこさとし・福岡伸一著「ちっちゃな科学」中央公論新社 本体 800 円



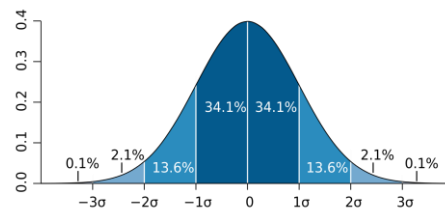
絵本作家のかこさとしと、生物学者の福岡伸一が対談、Q&A、分担執筆した「身近に科学を実感できる」の本である。小さな時の興味・関心があるまま続いて大人になったような二人から多くのことを学び取ることができる。中高生から大人（特にお父さん・お母さん）まで、特に小中学生に科学的な関心・意欲を促す立場にいる先生方に一読をお勧めしたい。

内容は、「大切なことは「小自然」で学んだ」、「人生で大事なことは昆虫から学んだ」「対談：トンボが好きな子もいればダンゴムシに夢中な子も」「科学的センスの育て方 20 問 40 答」「子どもたちと科学よみもの」など、気軽に楽しい科学の本である。

学校の先生のブック（小学校・中学校の先生）

新潟教育総合教育センター「競争より支援学力トップの上海の教育」時事通信社本体 864 円

PISA 学力で、順位と平均点に必要以上に興味を持っているのはアジア諸国で、欧米諸国は、冷静に教育内容や指導方法の改善のために活用しているように感じているが、思い違いだろうか。もっと、根本から学校教育を見直し、質の高い学力の育成・定着・維持・発展に取り組むべきだと考える。本書は、モデルとして、ヒントとして、あるいは反面教師として活用すれば、自校流の教育改善に役立つはずである。



ところで、上海の PISA 学力世界一の理由として、「中国は教育重視の程度が一般の国家より高い」「中国の小中学校教育の基本は科学中心主義の教育思想」「中国の小中学校教師は教科担任制」「中国政府は現場教師の継続的な教育に関心が高い」「上海では 1988 年から 2 回のカリキュラム教材改革を実施」「社会は学校の成績や進学率によって評価し、学校の校長や教師もテストの成績を上げることに重点」「学校の運営計画も教育の質の普遍的向上を実現」「高レベルで教育の質の均等化のもう一つの理由は、人民の住居の変化」の 8 つを挙げている。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

